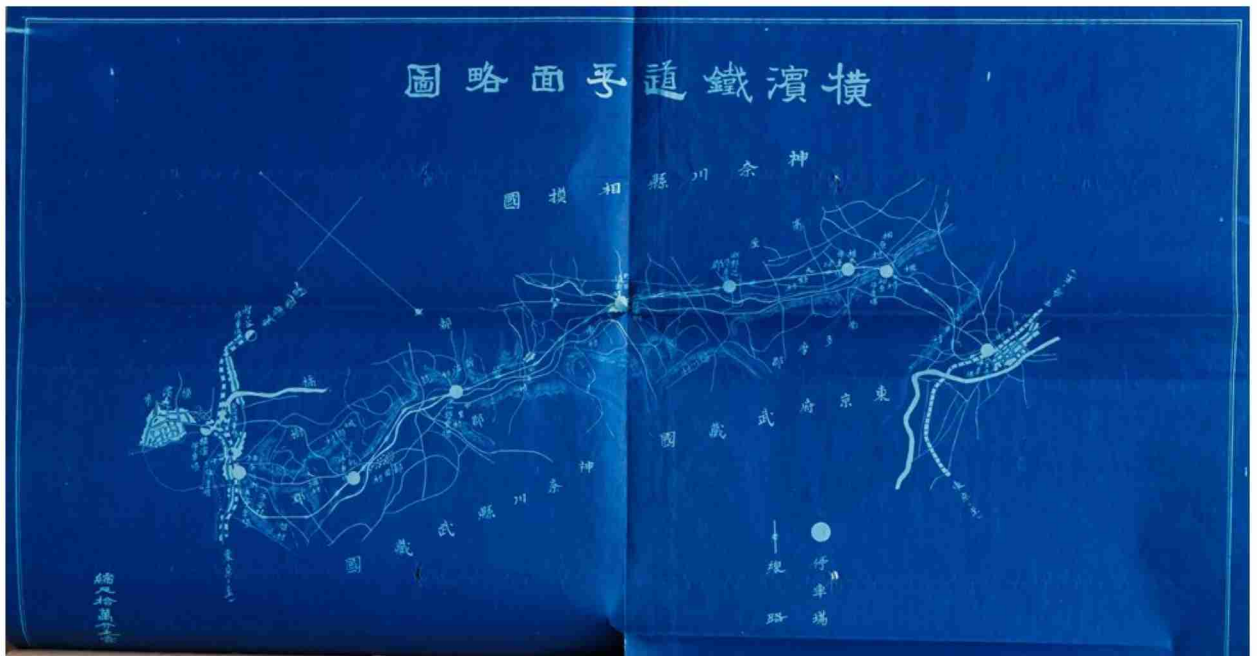


# 横浜鉄道（現JR横浜線）



「横浜鉄道平面略図」

（『横浜鉄道株式会社起業・土地収用関係・下〈土木課〉明治39年ヨリ同40年ニ至ル』）

八王子から町田、横浜へと続く道が「絹の道（浜街道）」と言われるように、多摩地域は製糸業や織物業が盛んでした。輸送を便利にするため、生糸商の原善三郎ら横浜の財界人たちが八王子から横浜方面への鉄道計画を出願します。しかし、明治22年（1889）に開通した甲武鉄道（現JR中央線）と競合し、許可されませんでした。

明治35年の出願でようやく仮免許状を受け、明治41年9月に東神奈川－八王子間が開通しました。横浜駅に近い神奈川町を起点として、町田を中間に位置づけ、相原・橋本・淵野辺、中山、小机間を通っており、まさしく「絹の道」にふさわしい鉄道でした。